

広報ひがしの

No158

2018.12.1

人口1711人

(男)845人

(女)866人

世帯数

635世帯

(H30.11.1現在)

東野ふれあい音楽祭開催



第23回 東野ふれあい音楽祭

11月4日（日）

今年は、フォルクローレ（南米の音楽）の演奏グループ、チャスカとボリビアンダンスグループBBNによるコンサート。

思わず踊り出したくなるフォルクローレの音色とリズム、それに合わせて踊るBBNの華やかな踊りに来場された300名の聴衆の皆さんには引き込まれました。第1部の終わりには、BBNのメンバーに誘われた数名の児童がダンスに参加。曲が盛り上がるごとに参加する児童の数がどんどん増え、ご覧の写真のように大盛り上がりでした。第2部では、東野小学校5・6年による合唱と合奏。小学生の皆さんは、練習時間が限られる中、心を一つにして、聴衆の心に響く歌と合奏を披露してくれました。また、日本郷土民謡協会の中村優佑さんの津軽三味線の演奏。馴染みのある郡上節ではお客様から自然に手拍子が起り、会場と演奏者が一体となる一時（ひとつとき）でした。

フィナーレではチャスカの演奏で童謡『小さい秋みつけた』を全員で合唱しました。聴衆と演奏者の心が一つになり、余韻を残しながら今年の音楽祭が終了しました。

ふれあい音楽祭も23回を数えました。今後もこれまで以上に充実した内容を企画し、来場された皆さんに十分楽しんで頂ける音楽祭にしたいと思います。

来年もご期待下さい。



スポーツの秋・文化の秋



東野住民ふれあい体育祭 10月21日（日）



昨年度は中止となつたふれあい体育祭でした。しかし、今年はこれ以上ないくらいの快晴の下、第43回「ふれあい体育祭」が盛大に開催されました。天候に恵まれたこともあり、多くの住民の方が参加して下さいました。

市長あいさつ 綱引きやムカデ競走等の熱戦が繰り広げられ、住民が一体となりとても盛り上がりました。終盤まで同点。最終競技の紅白リレーで勝敗が決しました。紅白リレー紅軍が勝利。劇的なフィナーレとなりました。

早朝より終日、世代を超えた東野のアスリート達がグラウンドを駆け抜けました。地域住民が一堂に会する機会が少なくなっていますが、多くの住民が参加できる場を作つていただき、地域のお祭りといつまでも続いていくといいですね。

企画や前日からの準備、運営に当たられた自治連合会、体育協会、開発振興会の皆さん、協力いただいた東野小学校の皆さんありがとうございました。

昨年度は中止となつたふれあい体育祭でした。しかし、今年はこれ以上ないくらいの快晴の下、第43回「ふれあい体育祭」が盛大に開催されました。天候に恵まれたこともあり、多くの住民の方が参加して下さいました。

市長あいさつ 運営委員長あいさつ



う」の皆さんによる合唱、「三人吉三巴白波

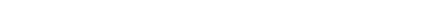
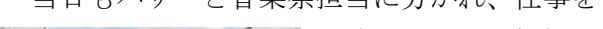
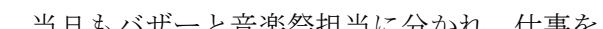
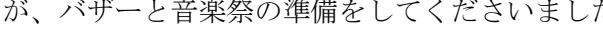
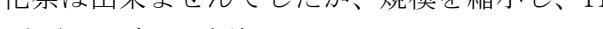
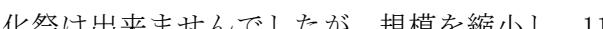
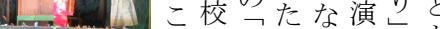
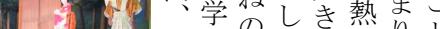
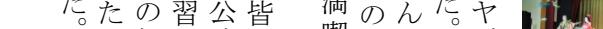
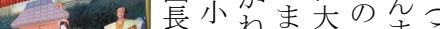
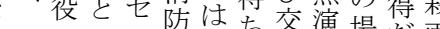
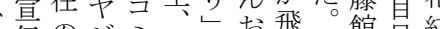
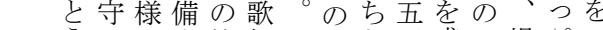
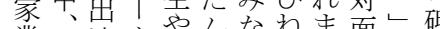
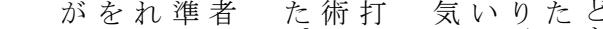
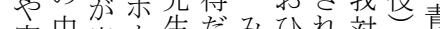


観客から乱れ飛ぶ“おひねり”の雨



東野歌舞伎公演

10月28日（日）東野小学校体育馆で、東野の伝統文化「歌舞伎」公演が行われました。東野の住民を初め、地域外から多くの観客が集まり大盛況。「さあうたいましょ



「土砂災害警戒情報」とは？

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、市町村長の避難勧告や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。

土砂災害の前兆現象！



- ・川の水がにごり、水といっしょに倒れた木が流れてくる



- ・雨は降り続いているのに川の水が減る



- ・山鳴りがする
- ・風もないのに山の木がザワザワする
- ・木がさける音や木の根が切れる音がする
- ・地鳴りがする



- ・地面にひびわができる



- ・がけにひびわれができる
- ・小石が斜面からぱらぱらと落ち出す

- その他に
- ・異様におい(土臭い、ものの焼けるにおい、酸っぱいにおい等)ができる

食料・飲料などの備蓄、十分ですか？

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

※ 大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

※ 飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておく、などの備えをしておきましょう。

非常用持ち出しバッグの準備、できていますか？

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。

非常に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

非常用持ち出しバッグの内容の例(人数分用意しましょう)

飲料水 調理不要の食料品(カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)

貴重品(預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など)

救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)・お薬手帳

ヘルメット、防災ずきん、マスク、軍手、懐中電灯、着替え(衣類・下着)

毛布(寝袋)、タオル、携帯ラジオ、コップ、予備電池、携帯電話の充電器

使い捨てカイロ、ウェットティッシュ、洗面用具、携帯トイレ、紙おむつ、レジ袋

ライター、ロウソク、ナイフ、手袋、スリッパ その他個人が必要とするもの

※乳児のいるご家庭は、ミルク・紙おむつ・ほ乳びんなども用意しておきましょう。



地域を知る・東野を知る

市民三学東野委員会

9月27日

(木)

に東野三学

塾の研修として、地域の方

26名が「谷汲山華厳寺・両界山

横藏寺・正法寺(岐阜大

仏)・信長公居跡を訪ねる

旅」に出掛けました。

旅館、飲食店、土産物屋が

軒を連ねる参道散策を楽しみ

ながら華厳寺を参拝。次に即

身仏や多くの国指定重要文化財が祀られる横藏寺を参拝しました。岐阜市では、岐阜大仏や信長公居跡の見学と、東濃地方ではあまり馴染みのない県内の文化財を拝見し、有意義な一日となりました。

参

岐阜大仏

身

歌詞には東野名所や歴史が織り込まれています。単語と簡単な歌詞の一部を紹介します。昔

は保古ノ湖

が全面結氷しスケートができたこと

やスケート場が開設されたこと

こと

ができる歌詞です。

誰でも参加できる東野音頭にしようと検討されました。昭和63年に音頭を復活させた新東野音頭

が完成し、振り付けも簡単にしたものができ、住民が参加できる新東野音頭となり、今日まで受け継がれています。

昭和21年に青年団が、東野村から東野音頭

の歌と踊りを作り、昭和22年に発表されまし

た。3、4年は踊り継がれましたが、歌と踊り

が難しく、自然消滅の状態となりました。

昭和63年に音頭を復活させた新東野音頭

が

新東野音頭



谷汲山華厳寺にて



岐阜大仏



岐阜大仏

10月17日(水)

には市民三学委員や東野在住の方

7

名で、東野散策マップに記載されている花無山の西行歌碑、向島の阿弥陀堂、山本風穴跡、伝西行竹林庵跡を訪れました。

どれも人里から離れた所にあり普段は目にすること

に多く主体的な学びの場を提供していきたいと思います。

10月17日(水)には市民三学委員や東野在住の方7名で、東野散策マップに記載されている花無山の西行歌碑、向島の阿弥陀堂、山本風穴跡、伝西行竹林庵跡を訪れました。

どれも人里から離れた所にあり普段は目にすること

に多く主体的な学びの場を提供していきたいと思います。

岐阜大仏

身

歌詞には東野名所や歴史が織り込まれています。単語と簡単な歌詞の一部を紹介します。昔

は保古ノ湖

が全面結氷しスケートができたこと

やスケート場が開設されたこと

幹産業として蚕種があつたことなど往時を偲ぶ

ことができます。

半分…い

五平餅の名前を全国的に広めたあのドラマと言えば、もちろん『半分、青い。』です。地元恵那市がドラマの舞台だったため、「この方言はおかしい。」「五平餅は出来たが最高。冷ましたらあかん。」等とドラマを通して多くの人が楽しんで視聴しました。

この写真は、永野憲男さんが列車の通過に合わせて何度も撮影したうちの1枚です。鈴愛が飛び出していくと大変好評でした。この写真を利用して丸山文憲さんが雀のオブジェを作成し、恵那山荘やこども園、小学校コミセンに飾られました。多くの人を楽しませ頂いた永野さん、丸山さん、ありがとうございました。



工事や記念碑設立のいきさつについてかなり要約してまとめてみました。機会を見てもう少し詳しく紹介させて顶く予定です。

この土地に阿木出身の県技師、可知貫一氏が着目し、東野村長に呼びかけました。当時の東野村は養蚕・蚕種の収入により比較的生活は安定していました。米の自給は30%しかありませんでしたが莫大な工事費を払う必要を感じる人は少なく、むしろ反対する者が多くいました。その中で、東野の将来を考えた人たちが家を一軒ずつまわり説得し、大正10年、保古ノ湖工事にこぎ着けました。同時に保古ノ湖用水導水路工事も始まり、

大正14年によく保古ノ湖堰堤の大工事が完成し、用水路工事も大正15年に完了しました。この工事により白坂の耕地は倍になりました。工事に使った金額は、総額32万円だったそうですが、そのおかげで、東野の食糧事情は安定し生活を豊かにすることができました。戦争直後、青年団で開墾記念碑建立が話題となり、村内各戸より集めた净財5万円余を基金として工事が始まりました。台石は保古山の林間学校のあつた場所から山中を木馬に乗せて曳き、碑石は蛭川村より木炭車で運んだものを、浜井場から山中に運んでいました。この作業に4ヶ月ほどかかり、ようやく昭和24年に記念碑を建立することができました。



開墾記念碑建立当時の青年団員
昭和24年11月3日(文化の日)撮影

コミセン工事が始まりました

昭和54年に開館して以来多くの皆さんに利用していただいたコミセンは、初めての長期休館をしています。コミセンの周りには足場



が組まれ、工事が始まりました。休館中はいろいろとご不便をおかけしますが、趣旨をご理解頂きますようお願いいたします。

東野小学校・こども園運動会 10月2日(日)

スローガンは「燃え上がりれ！！みんなの炎」

台風24号の影響で4日順延となりました。今年の夏は酷暑が続き、秋は雨天続きで例年以上に練習が大変だったと思います。しかし、夏休み前から一生懸命練習し、来賓や父兄の前で練習の成果を披露してくれました。

1・2年生は忍者体操、3・4年生は南中ソーラン、5・6年生は組み立て体操。ほほえましく、観衆からも温かい声援をかけられた、こども園の親子競技。

夏休みや放課後に頑張って練習していた声がコミセンまで聞こえてきました。

全員の心が一つになった応援合戦は競技と同じように子どもたちの真剣な気持ちが伝わってきました。スローガンに向かい心を一つにしてきたことがよく伝わってきました。



6年生にとっては最後の運動会。東野小学校で全校のリーダーとして頑張ったことをいつまでも忘れないでほしいと思います。

毎年11月23日は白坂・豊受神宮の祭典が執り行われます。今回は、白坂・豊受神宮の祭典について短く紹介します。

東野では1戸あたりの耕地は少なく、養蚕を行ったり、小作を行ったりしていました。現在の保古ノ湖あたりに与重小屋と呼ぶ草刈り場がありました。ここは雨が降るとたくさん水があり、いつもぐちゃぐちゃの土地でした。この付近で草刈りをする伊藤鎌吉氏は、「ここを堰き止めればかなり大きな溜池ができる、この水を東野に引けば、白坂方面の開墾ができ、広い水田が拓ける。」と常々話していました。

この土地に阿木出身の県技師、可知貫一氏が着目し、東野村長に呼びかけました。当時の東野村は養蚕・蚕種の収入により

比較的生活は安定していました。米の自給は30%しかありませんでしたが莫大な工事費を払う必要を感じる人は少なく、むしろ反対する者が多くいました。その中で、東野の将来を考えた人たちが家を一軒ずつまわり説得し、大正10年、保古ノ湖工事にこぎ着けました。同時に保古ノ湖用水導水路工事も始まり、

大正14年によく保古ノ湖堰堤の大工事が完成し、用水路工事も大正15年に完了しました。この工事により白坂の耕地は倍になりました。工事に使った金額は、総額32万円だったそうですが、そのおかげで、東野の食糧事情は安定し生活を豊かにすることができました。戦争直後、青年団で開墾記念碑建立が話題となり、村内各戸より集めた净財5万円余を基金として工事が始まりました。台石は保古山の林間学校のあつた場所から山中を木馬に乗せて曳き、碑石は蛭川村より木炭車で運んだものを、浜井場から山中に運んでいました。この作業に4ヶ月ほどかかり、ようやく昭和24年に記念碑を建立することができました。

12月～3月の予定

12月4日(火) 第4回自治会長会議

29日(土)～1月3日(木) コミセン・振興事務所
年末・年始休業日

2月の土曜日 コミセン大規模改修工事完成お披露目の会
お披露目の会の当日と翌日(土・日)

文化サークル発表会

3月上旬 第5回自治会長会議

8日(金) 小学校記念植樹

25日(月) 小学校卒業証書授与式

27日(水) こども園卒園式



乳幼児学級

すくすくクラブ



九月に予定していました高村への遠足はあいにくの雨のため急遽内容を変更し、コミュニケーションセンターで絵本を作りました。明知鉄道を使ってみんなで遠足に行けなかつたのは残念でしたが、お母さん、お子さんの力作の絵本が出来上りました!ぜひ、数年後に見返していただけると、お子さんの成長を感じられると思います♪



十月は天候にも恵まれ、コミュニケーションセンターから宗久寺まで散歩で親子できちんと左右を確認し、安全に渡ることができます♪ 散歩中に車両で通行された地域の皆様には、お子さんたちに配慮していました! 楽しみにございました。

十二月には待ちに待つ合同クリスマス会があります! もしかしたらサンタさんが来てくれるかもしれません。楽しみにしていましょう♪



♪すくすくクラブ学級生募集しています♪

今年度の予定

12/14 (金)	合同クリスマス会
1/24 (木)	食育
2/28 (木)	座談会
3/28 (木)	閉級式

乳幼児学級（乳幼児期の家庭教育学級）とは

保護者の学び場、保護者同士の交流、親子の交流を図る場です。ご家族の活動を主体とし、コミュニケーションセンターや社会教育指導員が支援します。

途中から、途中まで、1回のみ、時々になるけど…など、参加の形態は自由です。ご興味のある方、参加してみたいという方は東野コミュニケーションセンターまでご連絡ください!
(※参加費無料。活動によっては実費負担)

(お問い合わせ先: 東野コミュニケーションセンター 担当: 林)

発 行

東野コミュニケーションセンター 12月号
東野地域自治区運営委員会

この一年、東野の歴史や偉人、昔話等を読んでいます。学べば学ぶほど、次から次に疑問が湧いてきます。学校では習わなかつた地域の歴史を調べる事の楽しさを味わっています。学校で学ぶ期間はわずか十数年です。就職して学ぶこともたくさんあります、「学ばなければならない」ことです。義務から解き放たれ、進んで学ぶ、興味のままに学べることは幸せな事だと思います。

12月号でも東野の歴史を掲載しました。一人でも多くの方が郷土東野に興味をもつて頂けたら幸いです。(杉)

編集後記

「少にして学べば、則ち壯にして為すことありにして学べば、則ち老いて衰えず老いて学べば、則ち死して朽ちず」は、岩村町出身の儒学者、佐藤一斎(いっさい)先生の言葉です。この言葉を受けて恵那市では三学の町と謳(うた)っています。

コミュニケーションセンター・振興事務所

年末・年始休業日のお知らせ

振興事務所

12月29日 (土) ~ 1月3日 (木)

コミセン

12月29日 (土) ~ 1月7日 (月)

*葬儀の関係で告知放送が必要な場合は、市役所で死亡届を提出されるとときに、告知放送を依頼したい送を依頼してください。振興事務所職員に連絡が入りますので、対応します。

